

2・3面 第83回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ
(新潟・沖縄・道北・大阪)

船員しんぶん

◆ホームページアドレスhttp://www.jsu.or.jp◆Eメールアドレスkaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行第3017号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2023年(令和5年)
3月15日
本紙は毎月5・15・25日発行
〒104-0053 東京都中央区
晴海4丁目7番28号
ホテルマリナーズコート東京内
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-5410-8337
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

海員春闘

中央交渉 (日本カーフェリー交渉委員会・内航二団体・全内航)

& 全国474社で交渉中



異次元の物価高から組合員の生活を守るため

3月1日から始まった今次労働協約改定交渉は、中央交渉(各船団日本カーフェリー労務協会・内航二団体・全内航)と、中・四国管内の旅客船会社7社との中・四国旅客船労働協約改定集団交渉が、それぞれ3月1日に第1回交渉を開催し、日本カーフェリー交渉委員会は3月6日に第2回、13日に第3回交渉を行うも、基本給について具体的な回答が示されず、前向きな検討をするよう強く求め、次回の交渉を22日に予定した。また、内航二団体と全内航の第2回交渉を3月7日に開催したが、基本給について具体的な回答が示されず、次回の交渉を15日に開催予定とした。

中央交渉の各船団加盟会社以外の全国各支部で担当する会社は▽北海道管内1137社▽東北管内138社▽関東管内1140社▽関西管内192社▽中・四国管内196社▽九州管内171社の合計474社となり、期限内解決を目指し交渉を重ねている。

日本カーフェリー交渉委員会

3月6日の第2回交渉において、船団側からの「時間外労働」についての申し入れは、前回の交渉で組合側から「船員法改正を逆手に取り、割増手当の算定となる時間外労働を削減しようとする改善要求である」と強く取り下げを求めていたが、前回の議論を踏まえ、船団側がこの申し入れを取り下げたこととから、取り下げを確認した。その後、基本給と事務部の有給休暇日数について議論するも、3月13日の第3回交渉においても回答が得られなかった。

内航二団体

3月7日に第2回交渉を行い、前回の交渉で仮合意を確認した「有効期間」と「例外規定」「医療体制の向上に関する協定書の整理明確化」を除く、組合要求について逐条審議を行った。

全内航

3月7日に第2回交渉を行い、前回の交渉で仮合意を確認した「有効期間」と「適用除外」を除く、組合要求について逐条審議を行った。

中・四国旅客船労働協約改定集団交渉

令和5年度の第1回中・四国旅客船労働協約改定集団交渉を3月1日に、第2回交渉を3月8日に行った。第1回交渉では、労使双方の代表者挨拶を行った後、会社側の申し入れ「夜間労働割増手当の時間変更」「懲戒内容の変更」について、組合側から強く取り下げを求めた。3月8日の第2回交渉で会社側が「夜間労働割増手当の時間変更」を取り下げると、組合要求について前向きな意向が一切示されないことから、会社側の姿勢を厳しく求めた。

海員春闘・全国の進捗状況(中央交渉を除く)

3月13日現在

各地方支部管内	2月末日 要求書提出	第1回 交渉のみ終了	第2回 交渉まで終了	妥結 3月13日現在
北海道地方支部管内	37社	18社	3社	0社
東北地方支部管内	38社	17社	1社	0社
関東地方支部管内	140社	89社	10社	0社
関西地方支部管内	92社	68社	3社	0社
中・四国地方支部管内	96社	54社	6社	0社
九州管内地方支部管内	71社	58社	7社	0社

全国24支部で粘り強く交渉

(各地方支部管内進捗状況)
全国各支部で交渉する会社は474社(中央交渉の各船団加盟会社を除く)中・四国旅客船集団交渉7社(中・四国管内各支部に記入)となり、第1回目交渉を終えた会社数(3月13日現在)は

- ▽北海道管内1137社
- ▽東北管内138社
- ▽関東管内1140社
- ▽関西管内192社
- ▽中・四国管内196社
- ▽九州管内171社
- ◎九州管内165社
- ◎地方支部・▽支部
- ◎九州管内地方支部113社
- ◎長崎支部16社
- ◎鹿児島支部11社
- ◎沖縄支部13社
- 以上、合計474社に要求書を提出し、3月末日の有効期限内の決着を目指している。



新潟県
左から、佐渡汽船の陸上部門現場代表の松山武史さん、二階堂勇気職場委員、浅野忠行新潟支部長、交通政策局の佐瀬浩市局長、粟島汽船の東芳己船内委員長、日本海曳船の吉谷厚職場委員、上杉知之県議会議員、渡辺和光県議会議員



新潟市
左から小柳聡市議会議員、日本海曳船の吉谷厚職場委員、粟島汽船の東芳己船内委員長、浅野忠行新潟支部長、朝妻博副市長、高橋聡子市議会議員



佐渡市
左から石山茂輝執行部員、佐渡汽船現場組合員の炭屋和人さん、高橋直人さん、浅野忠行新潟支部長、佐渡市観光振興部の岩崎洋昭部長

〔石山茂輝通信員〕新潟支部は、新潟県と新潟市、佐渡市、村上市に対し、第83回定期全国大会決定事項に基づき政策諸課題と地域的課題について申し入れを行った。申し入れには上杉知之新潟県議会議員、渡辺和光新潟県議会議員、小柳聡新潟市議会議員、高橋聡子新潟市議会議員に、ご同行いただいた。

各地方自治体の対応
高橋邦芳市長に「対応いただき、高橋市長から「粟島航路は粟島浦村と本土を結ぶ『命の道』であり、何として

新潟市
朝妻博副市長に「対応いただき、朝妻副市長から「口ごろの諸活動に感謝する。港町

佐渡市
岩崎洋昭部長、同部の高津孔副部長に「対応いただき、佐渡市側は「船員の後継者の確保は、島内の二次交通も含め人手不足が喫緊の課題であり、Uターン、Iターン者を対象とする奨学金返還の免除を主軸に、各家庭に対する佐渡市に必要な人材の説明など、草の根運動を継続し、島内人口の増加に努めている」と述べた。

新潟県の各地方自治体へ

船員政策諸課題について 申し入れ

新潟県 新潟市 佐渡市 村上市

全国発信記事
新潟支部 = 発信



村上市
左から粟島汽船の富樫春夫船長、浅野忠行新潟支部長、高橋邦芳市長、小田邦博船内委員、東芳己船内委員長

でも存続させなければならぬ。航路維持に向け、関係自治体との連携による、就航船を活用したクルーズや観光プラン、県外からの修学旅行の誘致など、粟島航路の維持・活性化に向け取り組みを検討したい。また、村上市でも漁業者の就業支援策に力を入れており、漁業を含む船員の確保・育成に対しても事業者と連携した職業体験など、海事広報活動に取り組みたい」との見解が示された。

新潟県
新潟県交通政策局の佐瀬浩市局長と同局の野上文敏副局長に「対応いただき、佐瀬局長より「離島航路は極めて重要と捉えている。佐渡汽船は110年を超える歴史ある航路事業者であり、今後も会社と連携のもと、具体的な支援を検討したい」との見解が示された。

佐渡市
佐渡市観光振興部の岩崎洋昭部長、同部の高津孔副部長に「対応いただき、佐渡市側は「船員の後継者の確保は、島内の二次交通も含め人手不足が喫緊の課題であり、Uターン、Iターン者を対象とする奨学金返還の免除を主軸に、各家庭に対する佐渡市に必要な人材の説明など、草の根運動を継続し、島内人口の増加に努めている」と述べた。

離島航路は命の道



那覇港

沖縄県と沖縄県議会へ

定期全国大会 離島航路に 船員は必要不可欠

決定事項に基づく申し入れ

全国発信記事
沖縄支部 = 発信



沖縄県
左から、仲村未央県議会議員、崎山嗣幸県議会議員、下地要船長（那覇タグサービス）、島仲泰伍職場委員（琉球海運）、柴田哲也沖縄支部長、儀間秀樹企画部長

沖縄県議会からは「国・地方自治体がそれぞれの役割を担い取り組んでいかねばならない。海運・水産業が衰退しないように努力していきたい」との見解が示された。

沖縄県議会は、多くの離島航路を有しており、離島航路の維持・存続には船員の確保が重要であること、理解が得られた。沖縄支部は、今後も活動方針の具現化、政策実現に向け取り組んでいく。

沖縄支部は沖縄県と沖縄県議会へ、第83回定期全国大会決定事項に基づき申し入れを行った。申し入れには、琉球海運の島仲泰伍職場委員と那覇タグサービスの下地要船長が同行し、仲村未央県議会議員と崎山嗣幸県議会議員（組合政治参与）にご同行いただいた。

沖縄県
儀間秀樹沖縄県企画部長に「対応いただき、今回の申し入れは、海に囲まれた沖縄県にとつて非常に重要な政策で

沖縄県
沖縄県議会は、多くの離島航路を有しており、離島航路の維持・存続には船員の確保が重要であること、理解が得られた。沖縄支部は、今後も活動方針の具現化、政策実現に向け取り組んでいく。

沖縄県
沖縄県議会は、多くの離島航路を有しており、離島航路の維持・存続には船員の確保が重要であること、理解が得られた。沖縄支部は、今後も活動方針の具現化、政策実現に向け取り組んでいく。

沖縄県
沖縄県議会は、多くの離島航路を有しており、離島航路の維持・存続には船員の確保が重要であること、理解が得られた。沖縄支部は、今後も活動方針の具現化、政策実現に向け取り組んでいく。

2023年3月15日
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第39期全国委員の当選告示

一、2023年3月5日付で告示した第39期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

对立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》
05 中・四国 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 竹田 圭志 中・四国地方支部
在籍専従執行部員 以上



稚内漁船組合員大会



水産庁北海道漁業調整事務所を訪問

2月28日、道北支部と全国海友婦人会紋別支部は共同で、紋別市に対し第83回定期全国大会決定に基づく海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを行った。

全国大会決定事項を申し入れ

3月3日、午前9時から道北支部会館2階にて、令和5年稚内漁船組合員大会(船員組合より「海の日」固定

稚内漁船組合員大会

はじめに渡邊長寿道北支部長が「魚佃安、乗組員不足特定技能外国人の導入など労働環境が変化している。地区漁船存続のため、労働者の労働条件改善と後継者確保が急務である」とあいさつ。

労働条件改善と後継者確保が急務

道北支部の組合活動

全国発信記事

道北支部 = 発信



紋別市

左から3人目が渡邊長寿道北支部長、4人目が宮川良一市長

松本順一北海道地方支部長と渡邊長寿道北支部長、第28嘉廣丸の熊谷卓也漁労長と水産庁北海道漁業調整事務所を訪問し「紋別沖でのカニ密漁の取り締まりと敷設漁具の撤去」を訴えた。

紋別沖でのカニ密漁の取り締まりと敷設漁具の撤去

熊谷漁労長は「春にかけて違法漁船が増え続ける。作業甲板に引き上げられた大量のカニ籠で操業に支障をきたしている。紋別沖の漁場を守るため、取り締まりの継続と強化をお願いする」と訴えた。

漁業調整事務所からは、現場から通報で違法漁船の場所や動静が特定されてきている。今後も海上保安部と連携し、違法漁船の取り締まりや違法敷設漁具の除去を続けていく考え方が述べられた。



京都府

左から鹿田忠俊港湾局港湾企画課計画係課長補佐、小林剛宏港湾局港湾企画課主幹兼係長、井上寛信大阪支部次長、森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船職場委員

京都府・舞鶴市・舞鶴市議会 第83回定期全国大会 決定事項に基づく申し入れ

全国発信記事

大阪支部 = 発信

【高原迅斗通信員】大阪支部は、京都府・舞鶴市・舞鶴市議会に申し入れを行った。申し入れには森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船職場委員が同行した。

▽船員税制について趣旨は理解したが、影響を受けるのは自治体であることから、直接的な判断は難しいが趣旨を踏まえ各自自治体へ周知し、理解を求めていきたい。

▽船員税制については、税の公平性を踏まえれば理解するが、現時点での実施は難しい。他地区の動向も踏まえ慎重に検討していきたい。

▽申し入れ事項を議会に周知、検討したうえで可能な限り対応していきたい。以上について意見交換を行った。

船員税制の早期実現を要望、理解を求める



舞鶴市

左から、山下美晴の産業振興部長、井上寛信大阪支部次長、森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船職場委員



舞鶴市議会

左から、谷田幸雄市議会事務局調査係長、井上寛信大阪支部次長、森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船職場委員

聖神社



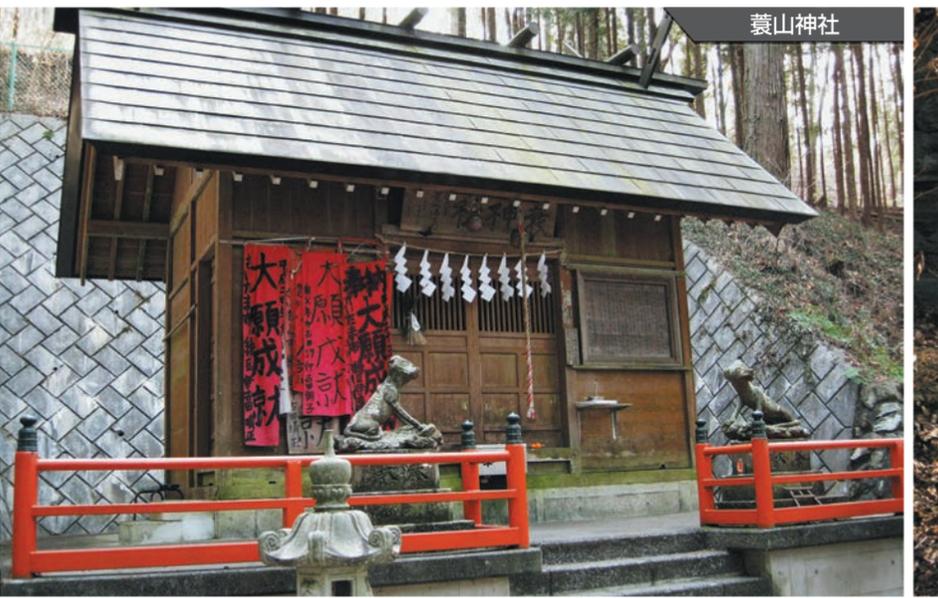
俳人・金子兜太先生の句碑
以前、本組合の月刊誌「海員」の文芸欄・俳句部門で、お世話になった金子兜太先生が逝去されてから5年の月日が経過しました。金子先生は埼玉県小川町の出身。
埼玉真秩父地方に初心者でも簡単に登れる養山があり、出発点となる駅の近くには金子先生の句碑があり訪ねてみました。

JR熊谷駅で秩父鉄道に乗り換え、親鼻駅で下車し、駅前の踏切を渡ると萬福寺があり、その入口に、兜太と刻まれた句碑が見えました。兜太先生のイメージを思わせる頑丈な石に「山峽に沢蟹の華微かなり」の歌が刻まれています。さまざまな場所ので聖松尾芭蕉翁と俳人正岡子規の句碑は、よく見かけますが、兜太先生の句碑に出会うのはブレイクタイム

美の山公園
句碑の先に養山があり、他の登山者もいるのではと考え、関東ふれあいの道コースを選び登っていくと、誰も遭遇しないまま2時間ほどで山頂に着いてしまいました。歩いているときは静寂さが気になりましたが、養山を貫し切り状態だと思えば、大自然を満喫できた気がします。
山頂近くには養山神社があり、ここまで人影を見ないためか、神社の狛犬の雰囲気も優しく感じられました。人懐こい犬をモデルにしたのかなと思いきや、調べてみるとオオカミの石像とあり驚きます。神社の境内はオオカミが出て不思議でない静寂さに包まれているが、秩父地方にもかつては「ホンオオカミ」が生息していたのかもしれない。

山頂には展望台があり、秩父盆地を眼下に、奥秩父から奥武蔵、遠くは日光連山まで360度を見渡せる大パノラマです。ほっと一息、ポットのお湯でコーヒータイムとしゃら込みました。
和同遺跡
養山の山頂は「美の山公園」として整備されており、みはらし園地には「秩父音頭」を作詞した金子伊昔紅先生の像がありました。金子兜太先生はこの金子伊昔紅さんの長男であり、現代俳句協会名誉会長も務めた俳人です。親子なので当然ですが、あまりにももっているのが驚いてしまいます。下山のコースは1時間ほどで和銅黒谷駅に行けますが、途中で日本通貨発祥の地

である和銅採掘露天掘跡「和銅遺跡」を訪ねました。
和銅遺跡に到着すると、「和同開珎」と刻まれた巨大なモノユメントがありまして。記録によると、この地で708年に自然銅が発見、朝廷に献上されると、それを記念して年号が和銅と改められ、和同開珎が発行され、本格的な貨幣として広く流通したそうです。ただ、銅と同年号は銅という字ですが、貨幣が同と刻まれているのは、漢字を知らなかったわけではなく、1300年前の鑄造の技術では難しかったのではと思えました。
日本最初の貨幣は683年ごろに日本で作られたと推定される銭貨、富本銭ですが、この貨幣が実際に流通し



養山神社

ブレイクタイム

埼玉県 秩父市

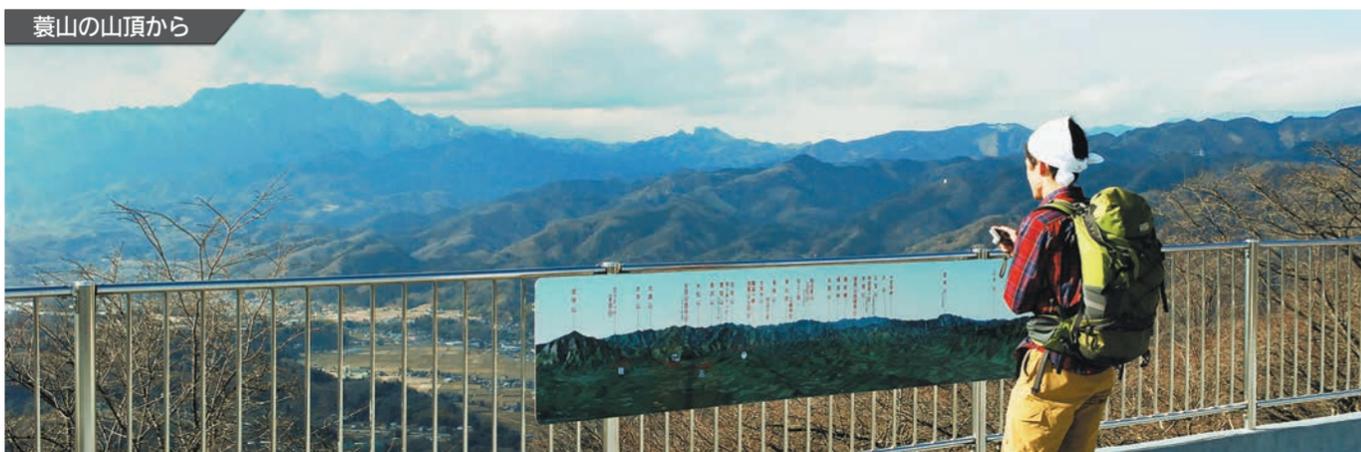
カタフリ

養山～和銅遺跡
日本通貨発祥の地を歩く



和同遺跡

レミアムといえるでしょう。
美の山公園
句碑の先に養山があり、他の登山者もいるのではと考え、関東ふれあいの道コースを選び登っていくと、誰も遭遇しないまま2時間ほどで山頂に着いてしまいました。歩いているときは静寂さが気になりましたが、養山を貫し切り状態だと思えば、大自然を満喫できた気がします。
山頂近くには養山神社があり、ここまで人影を見ないためか、神社の狛犬の雰囲気も優しく感じられました。人懐こい犬をモデルにしたのかなと思いきや、調べてみるとオオカミの石像とあり驚きます。神社の境内はオオカミが出て不思議でない静寂さに包まれているが、秩父地方にもかつては「ホンオオカミ」が生息していたのかもしれない。



養山の山頂から



萬福寺



金子伊昔紅先生の像



金子兜太先生の句碑